

事例の概要

青葉3丁目自治会は、相模原ゴルフクラブに隣接しており、一戸建中心の278世帯で構成され、99%以上という非常に高い加入率を誇る自治会です。

この高い加入率を活かし、防犯・防災・環境の各特別委員会を設け、それぞれ活動しており、さらには定期的なレクリエーションなど、幅広い活動を展開しています。

その中でも、自治会内で起きた空き巣や車上荒らしをきっかけに、防犯に対する関心が高まり、最も力を入れているのが防犯特別委員会です。

この委員会は、防犯パトロールを中心に実施しており、平成19年10月の組織設立時は19名のメンバーでスタートし、現在は24名で活動しています。

犯罪ゼロを目指して ～青葉3丁目自治会の取組～



防犯特別委員会によるパトロールの様子

特徴・ポイント

防犯特別委員会は、当初、定期的なパトロールを実施していましたが、それでは参加者への負担が大きいため、現在では「犬の散歩」や「買い物」などの移動の際に、腕章やベストなどを着用する方式のパトロールが中心となっています。

この「日常生活の活用」により、参加者の負担は軽減しつつ、頻繁にかつ切れ目のないパトロールが実現しました。現在では、月に250回、年間では実に約3,000回ものパトロールを実施しています。

さらに実際のパトロールでは、ただ巡回するだけでなく、コミュニケーションを図るための積極的なあいさつ、ごみや犬の糞などの自治会内の環境監視、一人暮らし老人宅の訪問なども実施しています。

また、防犯特別委員会のほかにも様々な活動が行われており、特に、80名で組織される防犯特別委員会の活動は活発

です。自治会内にあるすべてのごみ集積所への消火器設置、防災訓練、自治会の夏祭り会場での防災用品の展示などを行なっています。このような活動が評価され、平成20年に市自治会連合会から感謝状が贈られています。



贈呈された感謝状

課題・展望

防犯特別委員会では、様々な課題がある中、参加メンバーが固定化しつつあり、参加者が伸び悩んでいるのが現状です。

今後の展望としては、自治会内で発生した犯罪の被害状況や現場写真を明示するとともに、先進事例における犯罪数の減少効果や自治会での具体的なパトロール実績を回覧し、防

犯活動の重要性を訴え、いかに共感してもらうかが参加者を増やす鍵だと思われま



防災特別委員会の皆さん

体験・取材した職員から一言！！



犬の散歩や買い物などの際に防犯グッズを着用しパトロールを実施しているところが、すばらしい工夫だと思いました。自分達の地域を守る強い思いを感じました。
(津久井町地域自治区事務所 内山)



防災訓練・防犯パトロール・夏祭りにお伺いしましたが、どんな時でも自治会の皆さまは会話が絶えず、常々楽しそうに活動しておられました。加入率99%という数値以上の『団結力』がそこにはあり、これこそが青葉三丁目自治会の最大の魅力だと感じました。(道路管理課 小山)



活発な防犯パトロールや実践を想定した防災訓練を行うなど、積極的に自主運営に取り組んでいる先進的な自治会だと思いました。今後も強い連帯感のもと、活発な活動が行われることを期待しています。(生涯学習課 田中)

団体の基礎DATA



団体名◇青葉3丁目自治会
創立年◇昭和46年
会員数◇278世帯
代表者名◇岡林俊一さん



問い合わせ⇒岡林俊一さん
電話 042-712-5461